



# 臨検タイムス香川

一般社団法人 香川県臨床検査技師会 発行者：高橋 宗孝

## 十川聖三先生 瑞寶単光章 受章のお祝い

平成28年11月3日、香川県臨床検査技師会元会長の十川 聖三先生が瑞寶単光章を受章されました。

先生は、香川県職員、香川県臨床検査技師会会員として長年にわたり県民の健康増進、検査技師会の発展にご尽力されてきました。

また、香川県立保健医療大学設立に際しては、大学設置準備室主幹として用地調査から予算編成に携わるなど奔走されました。検査技師の資質向上を目指し、その理想像を追求されてきた先生のご活動は、紆余曲折、20年を超える歳月を要し、越えることができないであろうと思われていた大きな壁への挑戦であったとおっしゃっております。当初、短大としてスタートした大学は現在、4年制大学として多くの医療従事者を輩出し、県内医療の発展に大きく貢献しています。

今日、臨床検査技師という職業が一般の方にも広く知られるようになり、職場での立場も確立されてきたのは、十川先生をはじめ、諸先輩方のおかげだと思います。

先生の長年にわたるご活動のご功績が叙勲の榮譽として認められたことは、私たち検査技師にとりまして大きな喜びであり、誇りでもあります。今回の受章に際しまして、心よりお祝い申し上げます。



十川聖三先生、瑞寶単光章受章の祝賀会が、12/3(土) サンポート高松のビストロkomatsuにて開催されました。

## 《研修会のご案内》

- ① **平成28年度 管理運営研修会** 連絡責任者：長町 健一 ☎ 087-831-7101  
 日時：平成29年1月14日(土) 14:00~17:00  
 場所：高松赤十字病院 中央診療棟4階会議室 高松市番町4-1-3 TEL: 087-831-7101  
 内容：講演1 「ISO 15189取得のメリットについて(仮題)」 未定(シスメックス株式会社)  
       講演2 「ISO 15189取得 認定取得から維持管理の実際」 ISO担当者(株式会社四国中検)  
 参加費：200円 生涯教育研修：基礎20点  
 定員：40名  
 申込み：日臨技ホームページより事前登録を行ってください。  
 備考：駐車場が狭いため、なるべく乗り合わせで来場ください。

## ② 平成28年度 四臨協 臨床化学検査研修会

連絡責任者：香西 宣秀 ☎087-876-1145

日時：平成29年1月22日（日）9：20～15：30

場所：香川県立保健医療大学 大講義室（講義棟3階）

内容：演題1：「メタボリックシンドローム新基準と当院の受検者の傾向」 山本 明毅（JCHO宇和島病院）  
演題2：「当院の結果から考えられる事」 中田 恭文（JA徳島厚生連 阿南共栄病院）  
演題3：「Tamoxifen投与中にトリグリセリドの著増を認めた1例」 小野 有子（香川県立中央病院）  
演題4：「高知県の脂質検査精度管理状況」 栗下 一義（高知赤十字病院検査部）  
講演：「脂質についてお話ししましょう」 西岡 達央（協和メディックス株式会社）  
教育講演：「なぜ必要？ホントに必要？ 共用基準範囲」 中尾 隆之（徳島大学病院）  
特別講演：「検査データから読み解く脂質異常症」 三井田 孝（順天堂大学 大学院 医学研究科）

参加費：2,000円 生涯教育研修：専門20点

申込み：平成28年12月26日（月）までに、別紙案内状を参照の上、FAXにてお申し込みください。

## ③ 四臨協 平成28年度 第1回 輸血検査研修会

連絡責任者：徳住 美鈴 ☎087-831-7101（内線8307）

日時：平成29年1月29日（日）10：00～16：00

場所：高松赤十字病院 研修センター（2階 大研修室）

内容：「幹細胞移植について知ろう」

9:30～10:00 受付

10:00～10:10 挨拶

10:10～11:10 記念講演「輸血検査の変遷について」 原 邦雄（和光純薬工業株式会社）

11:20～11:50 講演「細胞移植っていくらかかるの？」 高杉 淑子（高松赤十字病院）

11:50～13:00 昼食（各自でご準備ください。徒歩圏内に讃岐うどん店があります）

13:00～14:00 講演「HLAとは？幹細胞移植を中心にした臨床への重要性について」 横沢 佑弥（株式会社ベリタス）

14:20～15:50 特別講演「同種造血幹細胞移植と免疫」 大西 宏明（高松赤十字病院 副院長 血液内科部長）

参加費：2,000円（当日集金させていただきます） 生涯教育研修：専門20点

申込み：所定の参加申込書に必要事項を記載のうえ、FAXで申込してください。

申込先：愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部 土居靖和まで TEL・FAX：089-960-5705

期間：平成29年1月4日（水）～1月20日（金）

備考：参加申込書等、ご不明な点は、高松赤十字病院検査部 徳住までご連絡下さい。

## ④ 平成28年度 第1回 血液検査研修会

連絡責任者：杉 理恵 ☎087-811-3333

日時：平成29年2月4日（土）13：00～16：00

場所：香川大学医学部 2F検査室

内容：骨髄像の見方（第3回） 丸本 浩二（四国中検）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

## ⑤ 平成28年度 細胞診教育講演（日本細胞診断学推進協会 細胞検査士会香川県支部共催）

連絡責任者：下浦 泰昌 ☎087-811-3333

日時：平成29年2月4日（土）13：30～17：00

場所：香川県立中央病院 1階講堂

内容：講演1「EUS-FNA（超音波内視鏡ガイド下穿刺）」

講演2「子宮頸部細胞診」 南口早智子（京都大学医学部附属病院病理診断科）

参加費：無料 生涯教育研修：専門20点

## ⑥ 平成28年度 第5回 生理検査研修会

連絡責任者：富野 和江 ☎087-831-7101

日時：平成29年2月5日（日）10：00～12：00

場所：高松赤十字病院 中央診療棟4階会議室

内容：臨床検査技師に役立つ脳波・けいれんの基礎知識（仮題） 宮崎 雅仁（高松赤十字病院 小児科）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

申込み：日臨技ホームページより事前登録を行ってください。

## ⑦ 四臨協 平成28年度第2回 血液検査研究班研修会

連絡責任者：杉 理恵 ☎087-811-3333

日時：平成29年2月19日（日）

場所：高知大学医学部

内容：鏡検実習4症例 および 特別講演

備考：詳細は臨検タイムス及び案内状にてご確認ください。

## ⑧ 平成28年度 日臨技、香臨技主催「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」

連絡責任者：松村 孝雄 ☎087-876-1145

日時：平成29年2月25日（土）9：00～17：45（受付8：30～）

2月26日（日）9：00～16：00

場所：高松赤十字病院 研修センター 2階 研修室

内容：平成29年2月25日（土曜日）

1) 謝・相談に取り組む意義（ビデオ）

宮島 喜文（日本臨床衛生検査技師会 会長）

2) 鑑者の立場から期待するもの

中川 義信（四国こどもとおとなの医療センター院長）

3) 鑑師の患者接遇

野上 典子（公益社団法人香川県看護協会専務理事）

4) 鑑から学ぶ

香川 和三（麻田総合病院 検査部）

- 5) R-CPC  
 6) 接遇の基本：ロールプレイ  
 平成29年2月26日（日曜日）  
 7) 臨床心理  
 8) 模擬演習
- 9) 説明の実際
- 申込み：日臨技ホームページより会員番号でログインし【生涯教育】行事検索/事前申込を選択し申込登録をお願いします。Web登録が無理の場合は上記連絡先までご連絡ください。
- 締切り：平成28年1月31日（火）
- 備考：当日、施設長からの受講承諾書（事前に施設長宛に郵送済）を提出ください。  
 駐車場の関係で、できる限り乗合せ、又は公共機関をご利用ください。
- 受講料：10,000円（当日、現地にて徴収） 生涯教育研修：基礎30点（修了証を交付）
- 定員：50名

### \*研修会の参加には、会員証を必ず御持参ください。

- 注. 検査技師免許取得の方で非会員の場合は、参加費として5,000円を頂きます。（四臨協は、10,000円）  
 尚、学生は無料。他職種の方は、会員と同額です。

研修会については、香臨技、および日臨技ホームページをご参照下さい。

## 海外留学研修体験記

叶岡 優菜（香川県立保健医療大学 臨床検査学科2年生）

2016年9月10日～26日の17日間、カナダのアルバータ州カルガリーにある南アルバータ工科大学（SAIT）に留学してきました。SAITと本学は交流協定を締結しており、本学からは私の他に看護学科学生1名と教員1名が参加しました。留学期間には、SAITの臨床検査学科（MLT）をはじめとする複数の医療系学科の授業に参加させていただきました。また、様々な施設を見学したり、観光したりすることで、カナダの文化について学ぶことができました。

まず、授業では、講義や実習に見学・参加させていただきました。超音波検査では、学生同士で腹部の超音波検査を行っていました。新しい機械が導入されているうえ、その台数が多いため、16人程の学生全員が一度に実習を行うことができていました。そのため、1人あたり40分程の実習時間が確保されており、その実習環境の良さに感動しました。また、胎児の模型を用いての超音波検査を体験しました。血液実習では、血液標本の作製と白血球分類を行いました。今までに経験のない実習内容であったので緊張しましたが、とてもいい経験になりました。顕微鏡実習では、各自で指導書の通りに作業を進めていき、項目ごとに先生にチェックしてもらい、指導を受けました。顕微鏡はすべてにカメラが付いているうえ、各席にオイル、レンズペーパー、スライドなどが完備されており、作業がしやすかったです。英語、免疫学、微生物学などいくつかの講義を受けましたが、特に印象に残っているのは、コミュニケーションについての講義です。グループごとに患者とのコミュニケーションで重要なことを話し合い、発表していました。日本でもコミュニケーションは重要視されていますが、実際にこういった講義はないので、新鮮でした。また、SAITの学生と教員を対象にプレゼンテーションを行いました。プレゼンテーションでは、自己紹介と日本の成人式について話しました。拙い英語でしたが、みなさんが日本の文化に興味を持って聞いてくださったので嬉しかったです。お土産として配った本学のマスコットキャラクターである「ほいほいさん」のグッズもとても喜んでもらえました。

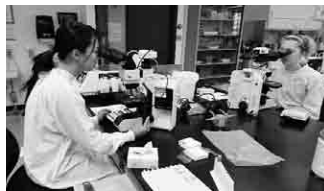
施設見学では、Foothills Medical CentreやCalgary Laboratory Services、STARSなどを訪れました。Foothills Medical Centreでは、集中治療室や緩和ケア病棟などを案内いただきました。新しくできた建物はとても広く、設備も充実しているように感じました。大きな窓と綺麗な眺めが印象的で、それは患者の気分転換になるようにとのことでした。カナダの病院内にギフトショップがあることも一つの発見でした。検査センターであるCalgary Laboratory Servicesには多くの検体が運ばれてきており、その規模の大きさに大変驚きました。また、いい環境だと感じたのは、検査室の一角に学生の実習スペースがあったことです。STARSはヘリコプター救急の施設で、実際にヘリコプターの内部を見学させていただきました。ヘリコプターが飛び立つ瞬間に立ち会うことができたのは、貴重な経験となりました。そこでの説明を聞くうちに医療従事者間のコミュニケーションの必要性を改めて考えることができました。

留学期間中は、ホテルに宿泊しました。最初は日本とは異なる設備に戸惑いましたが、慣れてくると快適でした。スーパーでの買い物はどれも量が多く、大きいことがとても印象的でした。また、カナダでは、クレジットカードでの支払いが主流で、お店だけでなく駅のチケット売り場でも使用できました。

今回の留学を通して様々な人たちと触れ合うことができました。同時期に留学に来ていたシンガポールとオーストラリアの学生とは、バンフなどの観光地へ一緒に行ったり、アイスホッケーの試合観戦をともにしたりすることで、交流を深めることが出来ました。今年の夏に本学に留学していたSAITの学生と再会することができ、何度か一緒に食事をする機会にも恵まれ、とても楽しい時間を過ごすことができました。また、SAITに在籍する日本人学生と話しをする機会があり、これから考えていく進路が一気に広がったような気がしました。人々の温かさを感じながら異文化について学ぶことができたのは、とても大きな収穫だったと思います。今回の経験をこれからの自分の将来に生かせるようにしていきたいです。



（右から2番目が叶岡さんです。  
 左から2番目が看護科の学生です）



## 第41回香川県医学検査学会のご案内、および一般演題募集のお知らせ

日 程：平成29年4月23日(日)

会 場：香川大学医学部附属病院

テーマ：「感染症にそなえる～検査室の役割・検査技師の使命～」

つきましては、下記の要領にて一般演題を募集いたしますのでふるってご応募ください。

記載事項：①会員番号 ②氏名(漢字) ③氏名(カナ) ④所属(施設名)

⑤連絡先の電話番号・FAX番号 ⑥演題名 ⑦発表内容の部門 ⑧E-Mailアドレス  
(携帯電話アドレスの場合は、下記アドレスを受け取れるように設定してください)

申 込 先：KKR高松病院 横内 美和子

TEL：087-861-3261(内線7896) FAX：087-835-0793

E-Mail：karingi.gaku@gmail.com

演題締切：平成29年1月31日(火)

抄録締切：平成29年2月20日(月)

発表形式：口演7分、質疑3分(PCプロジェクターを使用)

\*一般演題は、学生および賛助会員の方からも受け付けています。

## 「ひと言年賀状」募集のお知らせ

臨検タイムス編集部では、来年1月号に掲載する「ひと言年賀状」の原稿を募集しています。

今年の思い出や来年の抱負などを200文字以内にまとめて、臨検タイムス原稿送付先までお寄せください。

みなさまからのメッセージをお待ちしています。 (原稿締切り：平成29年1月10日(火)まで)

### ・ 編 集 後 記 ・

年末なんてまだまだ先なんて思っていたら、あっという間に来るものだとこの季節になると毎年感じています。年明けにやるぞと思っていたことが結局中途半端に終わってしまい、反省することばかりです。まさに光陰矢の如し、来年こそはやるべきことを計画を立て目標を達成しようと気持ちを新たに頑張りたいと思います。

来年の干支は「酉」です。「とり→とりこむ」とかけて商売関係にも縁起の良い年とされています。商売とは遠い仕事ですが、色々なことを「とりこんで」成長していける年に行きたいと思います。皆様にもよい年が訪れますように。



藤重 和久(永生病院)

臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365

医療法人社団 海部医院

小林 万代まで

TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

E-Mail：kobaboobu0128@hotmail.co.jp

香臨技ホームページ：

ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001

臨検タイムス香川 通巻 257 号

【発行所】

一般社団法人 香川県臨床検査技師会

〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13

事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】 小林 万代 山本 直子

【編集委員】 藤重 和久 十川 直美 小河 佳織

【印刷】 有限会社シーアンドシーイシハラ

平成28年12月印刷・発行